



#### NHKバリバラ収録

障害者権利条約の対日審査に関する総括所見がテーマの番組収録に臨みました。春に続けて貴重な機会をいただきました。精神科医療における非自発的入院や身体拘束などの課題について、国連障害者権利委員会へのパラレルレポート提出の取り組みやジュネーブでのロビー活動のことをご紹介しながら話題提供をさせていただきました。

番組は翌年放映され、大きな反響をいただきました。ありがとうございました。(2022.11 大阪)

#### 当事者交流「お話会」

精神障害当事者を対象にした「お話会」を月例で開催しています。少人数の当事者同士だからこそ安心と共感ができる場にあなたも参加しませんか？

普段なかなか、言いにくいようなこと、時には日頃感じる思いを言葉に紡ぐ場となっています。その場での言いっぱなしもOKです。「また来たい!とみんなが思える場に。」仲間の時間と気持ちを大切にさせていただける方の参加を歓迎します。

参加費：無料  
定員：15名程度  
会場：東京都障害者福祉会館

実施日など企画の詳細についてはWEBにてご確認ください。



## 障害福祉サービス等を活用した暮らしのデザイン 当事者・支援者インタビュー動画資料公開

精神障害のある人の生活を支える障害福祉サービスそれ自体の認知が当事者コミュニティで少ない現状が、この間の活動により確認されてきました。今回のプロジェクトでは、公益財団法人タチバナ財団の助成のもと、当会が行ってきた当事者交流お話会や相談の取り組みから蓄積をした生活者としての当事者の経験をもとにして、福祉関係者とも協働し動画資料コンテンツを作成しました。サービス利用についての広く関心が高まるとともに必要な人に届くことを願っています。

**精神障害のある私たちの  
障害福祉サービス等を活用した  
暮らしのデザインを考えよう!**

YouTube

精神障害のある人は全国に約400万人いると言われています。ですが、当事者活動を通じて「障害福祉サービスを良く知っている!」という当事者は、意外に少ないことがわかってきました。なぜでしょうか? 「サービスの情報や利用経験を当事者視点で得る機会が圧倒的に少ないことが課題のひとつではないか?」と私たちは、考えています。そこで、実際にサービスを利用しながら地域で暮らす当事者や福祉関係者と協働して動画資料を作成しました。

精神障害者の地域での暮らしのデザインを、  
みなさんも一緒に考えていきましょう!

**出演者**



**佐藤 朋美さん**  
一般社団法人精神障害当事者会ポルケ 副代表理事  
夫と息子(1歳)の3人で暮らしている37歳。神奈川県在住。現在訪問看護を利用しながら育児奮闘中。



**須藤 隼さん**  
熊本県発達障害当事者会 Little bit 共同代表理事  
熊本県在住の発達障害・双極性障害当事者。ひとり暮らしでヘルパーを利用しながら生活する。就労継続支援A型勤務。愛称:ふじちゃん。



**木村 直子さん**  
東京都文京区在住のケアマネジャー。相談支援専門員の経験があり、熱い想いを持つ。パンやお菓子作りが趣味。

YouTubeチャンネル  
精神障害当事者会ポルケ  
<https://www.youtube.com/@user-mm4d2mc3t/featured>

ご視聴は  
コチラから!



公益財団法人タチバナ財団助成事業

■話題提供者  
佐藤朋美さん  
一般社団法人精神障害当事者会ポルケ副代表理事  
夫と息子(1歳)の3人で暮らしている37歳。神奈川県在住。現在訪問看護を利用しながら育児奮闘中。

須藤隼さん  
熊本県発達障害当事者会 Little bit 共同代表理事  
熊本県在住の発達障害・双極性障害当事者。ひとり暮らしでヘルパーを利用しながら生活する。就労継続支援A型勤務。愛称:ふじちゃん。

木村直子さん  
東京都文京区在住のケアマネジャー。相談支援専門員の経験があり、熱い想いを持つ。パンやお菓子作りが趣味。

# NZメディアガイドライン翻訳プロジェクトについて

2021年12月の大阪の北新地ビル火災事件を受けて、当会が実施した意識調査では、全国1都1道2府18県の精神障害のある人から128件の回答が寄せられました。当会ではアンケート結果を踏まえて、これまでも繰り返し行われてきた同様の事件の際のメディア報道のあり方が大きな社会課題であると再認識をしました。そこでアンケート結果を踏まえて、関係者に協力をいただきながら約1年間にわたって机上調査や翻訳作業を行ってまいりました。イギリスやカナダ、そしてニュージーランドでは精神保健の関係者とメディア関係者が協働して、メディアガイドラインが制定されていることを知りました。その中でも、当事者参加が行われているニュージーランドで制作されたメディアガイドラインに私たちは注目をして翻訳資料づくりに取り組んできました。

報告レポートの公表を厚生労働省記者会で行い、毎日新聞社や福祉新聞社でその模様が取り上げられました。今後、精神医療保健の関係者やメディア関係者にも声掛けをして、日本国内でのメディアガイドライン策定のアクションを行っていきたいと思います。関連資料はホームページにて公開をしています。ニュージーランド在住の精神障害者の社会運動の国際的なリーダーであるマリー・オーハイガン氏からメッセージをお預かりしました。

## 講演活動のご報告—精神科医療体制確保研修

2023年1月精神科医療体制確保研修のゲスト講師のため、岡山県精神医療センターを訪問する機会をいただきました。この研修は、一般社団法人日本公的病院精神科協会が主催するもので、精神医療に関する制度システムの改革と同時に、患者の権利に基づいた医療現場のより良いあり方、意識改革にも少しでも寄与できればと考えてご協力をしています。代表理事の山田と理事の相良から話題提供をさせていただきました。

非自発医療が組み込まれた現行の精神医療システムの中において、看護技術が、つまるところ誰のための技術なのか、よくよく考えていただくことが、この種の研修の「出発」には欠かせないと考えています。それを乗り越えるものなのか、あえて引き受けるものなのか。患者の権利や擁護という言葉はよく言われるところですが、それに逆行するような制度的に矛盾を抱えながら、現場で果たす役割はなんなのか、これを共に考えてもらいたいと思います。確信はありませんが、その逡巡があるかないかが看護の内実に色濃くでるような気がします。

しかし、残念なことに、そのような根幹を考える機会が減ってしまっているということを目にします。向き合うということがなにか、看護職の方に限らず、ベテランの専門職のみなさんは諦めずに若手とも語り続けてほしいです。

## 書籍のご紹介 こころの科学228号 (日本評論社)



特別企画として、「こころの病気とスティグマ」を取り上げています。学識経験者や家族の立場、そして当事者の立場など多様な面々がスティグマの問題について論じています。通算200巻を超えるこころの科学ではじめて、スティグマの問題が取り上げられたとのこと。ご関心ある方はお手にとっていただけますと幸いです。

## ネットワーク会員 入会募集中!

- ・個人会員 3,000円
- ・法人団体会員 1口5,000円から承ります。

◎お振込み先◎

- ・ゆうちょ銀行
- 種類：普通
- 名義：精神障害当事者会ポルケ
- 記号：101401/番号：74117481
- ・ゆうちょ銀行以外からの振込み
- 店名：〇一八/ 口座番号：7411748

### 団体連絡先(発行者)

mail in.porque@gmail.com  
web https://porque.tokyo/

一般社団法人精神障害当事者会ポルケ  
代表理事 山田悠平

QRコードから団体HPにアクセスできます

